

主要産地における令和6年産水稻の生育状況等について 第3報 (令和6年5月30日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和6年5月30日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の掲載)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の掲載)	(参考)
		年々、指標等に対する遅速等			令和6年度の品種構成の情報
北海道	(育苗)	(5月15日現在) (全道) 苗の生育は平年並で、出芽の良否はやや良。また、一部地域で移植作業が始まった。 (北海道 5月21日付)		(全国) この春の間にエルニニョ現象が終息して平常の状態になる可能性が高い(90%)。その後、秋にかけて平常の状態が長く可能性もあるが(40%)、エルニニョ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。 (気象庁 5月10日付)	
				【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は平年並の高い見込み。 降水量は日本海側とオホーツク側で平年並が少なく、太平洋側でほぼ平年並の見込み。日照時間は日本海側とオホーツク側で平年並が少なく、太平洋側で、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっている。 (農林水産省 令和6年3月12日) (出典資料は以下同じ)
青森	(移植)	(5月25日現在) ・田植え遅れ状況は、黒全体で8.8%となっており、平年より6ポイント高かった。 ・黒全体の田植え遅れは、平年より1日早い5月20日であった。 (青森県 5月28日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。 「青天の霹靂」「はれわたりが」が増加傾向となっている。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	
岩手	(移植)	(5月27日現在速報) 【田植えの進捗状況】 ・県内の田植え遅れ(50%終了)は、平年より1日早い5月16日頃となった。 ・4月中旬から5月中旬にかけて気温が高く推移したことから、草丈は平年よりも長く、やや徒長気味の苗となり、充実度がやや低い苗もみられた。 ・一時的な低温もあったが、5月は好天が続き、活着は平年並みに良好となっている。 (岩手県 5月30日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 「銘河のしずく」が、耐病性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	
宮城	(移植)	(5月22日現在) 【田植え進捗状況】 ・黒全体の田植え遅れ率は9.3.6%となっており、田植え遅れに達した地域もみられる。 (宮城県 5月23日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	
秋田	(育苗)	(4月25日現在) 【農作業の進捗】(各地域振興局農林部農振課調査) ・水稲移植作業の始期は4月11日(平年4月12日)、盛期は4月21日(平年4月22日)と、始期、盛期ともに1日早かった。 (4月25日現在) 【苗の生育】(気象調査試験における苗の生育状況) ・4月10日播種の中間「あきたこまち」苗の生育は、平年を上回り、草丈は9.3cm(平年並+133%)、葉数は2.0葉(平年並+0.2葉)だった。 4月5日播種の中間も同様に平年を上回って生育している。 ・4月2半前か3半前か平年を上回って経過したことにより、この頃に播種した苗の出芽や生育は順調である。しかしこの期間には日照も多く、被覆資材下の育苗箱内温度が上昇しやすかったことから高温障害による発芽不良が心配された。 (秋田県 4月30日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	
山形	(育苗)	(5月9日現在) ・移植遅れの遅延作業は、始期(5%終了)が4月7日(平年並-1日)、盛期(50%終了)が4月15日(平年並-1日)、終期(95%終了)が4月26日(平年並+1日)となった。 ・生育は概ね順調だが、一部に、発芽の不揃いや病害の発生、苗焼け、徒長苗が見られる。 (福島県 5月10日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「はてめぼし」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。 新品種「響響丸」は増加傾向にある。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	
福島	(育苗)	(5月9日現在) ・移植遅れの遅延作業は、始期(5%終了)が4月7日(平年並-1日)、盛期(50%終了)が4月15日(平年並-1日)、終期(95%終了)が4月26日(平年並+1日)となった。 ・生育は概ね順調だが、一部に、発芽の不揃いや病害の発生、苗焼け、徒長苗が見られる。 (福島県 5月10日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼし」を中心とする品種構成となっている。 新品種「響響丸」が定着している。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	
茨城	(生育)	(5月27日現在) (龍ヶ崎市、4月25日移植) ・主幹葉数の数値からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日早く、「ふくまるSL」で1日早く、「コシヒカリ」で1日遅い。 ・「あきたこまち」では、草丈は高く、葉数は平年並、葉色はやや濃い。「ふくまるSL」では、草丈はやや高く、葉数は平年並、葉色はやや薄い。「コシヒカリ」では、草丈は高く、葉数はやや多く、葉色はやや薄い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 5月28日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 近年、多様な多収米への作付移行が進んでいる。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	
栃木	(育苗)	(5月27日現在) ・主幹葉数の数値からみた生育は、「あきたこまち」で平年より3日早く、「ふくまるSL」で1日早く、「コシヒカリ」で1日遅い。 ・「あきたこまち」では、草丈は高く、葉数は平年並、葉色はやや濃い。「ふくまるSL」では、草丈はやや高く、葉数は平年並、葉色はやや薄い。「コシヒカリ」では、草丈は高く、葉数はやや多く、葉色はやや薄い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 5月28日付)		【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。 近年、多様な多収米への作付移行が進んでいる。
				【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁)	

(生育状況等)			
千葉	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月20日現在) 【品種別の生育状況、平均比】 平均比は過去10年(2014~2023年)の平均値との比較。「粗すけ」は過去9年(2015~2023年)のデータと比較したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月20日播付「ふさおとめ」葉数の進み：早、草丈：長、茎数：多 ・4月20日播付「ふさこがね」葉数の進み：やや早、草丈：長、茎数：多 ・4月20日播付「コシヒカリ」葉数の進み：やや早、草丈：やや長、茎数：多 ・5月1日播付「コシヒカリ」葉数の進み：遅、草丈：短、茎数：やや多 ・4月20日播付「粗すけ」葉数の進み：早、草丈：長、茎数：多 <p>(千葉県 5月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>関東甲信地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から品種「粗すけ」の本格栽培が開始
新潟	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月20日現在) 【品種別の生育状況、平均比】 平均比は過去10年(2014~2023年)の平均値との比較。「粗すけ」は過去9年(2015~2023年)のデータと比較したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月20日播付「ふさおとめ」葉数の進み：早、草丈：長、茎数：多 ・4月20日播付「ふさこがね」葉数の進み：やや早、草丈：長、茎数：多 ・4月20日播付「コシヒカリ」葉数の進み：やや早、草丈：やや長、茎数：多 ・5月1日播付「コシヒカリ」葉数の進み：遅、草丈：短、茎数：やや多 ・4月20日播付「粗すけ」葉数の進み：早、草丈：長、茎数：多 <p>(新潟県 5月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんずり」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。
富山	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月27日 生育観測日)</p> <p>【本田での生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「てんたかく」 平年に比べ、草丈は並、茎数はかなり多く、葉数は0.6葉遅れであり、葉色はやや淡くなっている。 ・「コシヒカリ」 平年に比べ、草丈は並、茎数は少なく、葉数は0.3葉遅れとなっている。 ・「てんこもり」 平年に比べ、草丈、葉色は並、茎数は多く、葉数は0.3葉遅れとなっている。 ・「富富富」 近年に比べ、草丈は短く、茎数は並、葉数は0.2葉遅れであり、葉色はやや淡くなっている。 <p>(富山県 5月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温乾燥でも生育が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」県のトップブランドに指定されている「富富富」が増加傾向にある。
石川	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月23日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナエチゼン」は、移植後の強風などにより、一部園場で播き漏れが発生した。 ・5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並だったが、生育はやや小さい傾向。 ・ニカメイガの発生時期が平年よりかなり早く、今が発生盛期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ゆめづり」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ゆきんずり」が増加傾向にある。
福井	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月23日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナエチゼン」は、移植後の強風などにより、一部園場で播き漏れが発生した。 ・5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並だったが、生育はやや小さい傾向。 ・ニカメイガの発生時期が平年よりかなり早く、今が発生盛期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「ゆきんずり」が増加傾向にある。
長野	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月23日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナエチゼン」は、移植後の強風などにより、一部園場で播き漏れが発生した。 ・5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並だったが、生育はやや小さい傾向。 ・ニカメイガの発生時期が平年よりかなり早く、今が発生盛期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁)</p> <p>関東甲信地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風よか」の導入を推進している。
滋賀	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月23日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナエチゼン」は、移植後の強風などにより、一部園場で播き漏れが発生した。 ・5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並だったが、生育はやや小さい傾向。 ・ニカメイガの発生時期が平年よりかなり早く、今が発生盛期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並。太平洋側で平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁 大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月綿葉性害虫の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温乾燥に耐えた「みずかがみ」の作付けが推進されている。
兵庫	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月23日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナエチゼン」は、移植後の強風などにより、一部園場で播き漏れが発生した。 ・5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並だったが、生育はやや小さい傾向。 ・ニカメイガの発生時期が平年よりかなり早く、今が発生盛期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並。太平洋側で平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁 大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月綿葉性害虫の発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「ヒノヒカリ」、「きぬむすめ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推奨している。
岡山	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>・中北部地域の田植時期、生育概況は概ね平年並である。(岡山県 5月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並。山陰で平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁 広島地方気象台)</p> <p>中国地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」及び「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広島	<p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗期間中の3月下旬は気温が低かったものの、4月は全開にわたって気温が高く推移した。そのため、草丈は長めに生育した。 ・4月20日ごろに挿したほ場は、活着が良かったため生育が早く、草丈が長く、茎数が多くなっている。 ・一方、5月植えは低温で際水も多く多かつたため、茎数がやや少なくなっている。 ・4月の気温が高かったため、スクミリンゴガイの活動が早まり、また、一部のほ場では、葉類や還元障害の発生がみられる。 <p>(生育)</p> <p>(5月23日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハナエチゼン」は、移植後の強風などにより、一部園場で播き漏れが発生した。 ・5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並だったが、生育はやや小さい傾向。 ・ニカメイガの発生時期が平年よりかなり早く、今が発生盛期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日~6月30日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並。山陰で平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁 広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月~8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁 広島地方気象台)</p> <p>中国地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁 広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【水稲 いもち病（育苗～本田初期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、育苗期や移植後の早期水稲での発生は確認していない。 <p>(愛媛県 4月30日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめのま」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>(4月)</p> <p>【水稲（早期稲）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年に比べ4月の日照時間が少なく、トリコゾムシによる苗立枯病やビシウムによるムレ菌、苗いもちの発生が見られたほか、一部地域でガス害による葉枯れが確認されている。 <p>・移植は3月第5半旬より始まり、移植盛期は中西部で4月第4半旬、その他の地域では4月第2～3半旬でほぼ平年並であった。</p> <p>(移植)</p> <p>・スクミンコガイの越冬量は暖冬の影響により多かったと考えられるが、現在のところ大きな被害は確認されていない。</p> <p>・4月第2半旬の強風の影響が懸念されたが、現在の生育は概ね順調である。</p> <p>(高知県農畜衛生防除所 5月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<p>【早期水稲（夢つくし、コシヒカリ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した（最盛期は4月下旬）。 ・平年並～やや高い気温で経過しており、活着は概ね順調。 <p>【普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、6月上旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 <p>(福岡県農林業総合試験場 5月22日付)</p> <p>(移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 5月15日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>(5月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は分けつ期 <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月23日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みか389」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は6月2日頃からかなりの低温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、改良米率の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：県及び地方自治体、出産調整等がホームページで公表している資料を基に情報提供が取り纏め。
注2：生育状況等（播種後等発生資料の抜粋）については令和6年5月30日12時時点での取り纏め。
注3：更新前回は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況(5月15日現在)(北海道 5月21日)、
5月25日現在田植進捗状況(青森県 5月28日)、
農作物技術情報 第3号 水稻(岩手県 5月30日)、
令和6年度産水稻の田植状況について(5月22日現在)(宮城県 5月23日)、
作況ニュース(第1号)(秋田県 4月30日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第2号(令和6年5月9日現在)(福島県 5月10日)、
水稻の生育状況と当面の対策第1報(千葉県 5月22日)、
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室 5月28日)、
TACS情報第1号(富山県 5月28日)、
稲作情報No.5(水稻レベルアップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 5月24日)、
令和6年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月29日)、
病害虫発生予報(5月)(愛媛県 4月30日)、
病害虫発生予察情報について令和6年度病害虫発生予察4月月報(高知県病害虫防除所 5月8日)、
主な農産物の生産状況(令和6年5月16日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月22日)、
令和6年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月23日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(5月30日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(5月30日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(5月30日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(5月30日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(5月30日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(5月30日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(5月30日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(5月30日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(5月30日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月21日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月21日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月21日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月21日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月21日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月21日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月21日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月21日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(5月27日14時30分)、

エルニーニョ監視速報(Na.380)(気象庁 5月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第2号(農林水産省 5月15日)、
令和6年度産水稻の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)